

# たかじょう通信



## 今日は何の日??



あまり知られてはいませんが、祝日や記念日と同じように、毎日なんらかの記念日や事柄が設定されています。今号では8月の誰もが知っているメジャーな日や、ちょっとマニアックな日を紹介いたします。



### ★ハサミの日（8月3日）

美容家で山野学苑創設者の山野愛子が、「針供養」に倣って「ハサミ供養」を提唱し、1978年から実施。ハ(は)三(さ)・み(み)で「はさみ」の語呂合わせ。使えなくなった鋏の供養が行われる。

### ★箸の日（8月4日）

「箸を正しく使おう」という民俗学者の提唱で、わりばし組合が1975年に制定。「は(8)し(4)」(箸)の語呂合せ。東京・千代田区の日枝神社では、神前に長さ1mの大きな箸を供え、古い箸を焼いて供養する箸供養祭が行われる。

### ★親孝行の日（8月8日）

親孝行全国推進運動協議会が1989年に制定。「88」が「は(8)は(8)」、「パ(8)パ(8)」と読めることと、「ハチハチ」を並びかえると「ハハ(母)チチ(父)」となることから。

### ★ムーミンの日（8月9日）

トーベ・ヤンソン作の「ムーミン」を記念する日。語呂合せから6月3日がムーミンの日とされてきたが、ムーミン誕生60周年となる2005年、「全世界で通用する記念日を」ということでのトーベ・ヤンソンの誕生日である8月9日に改められた。

### ★バイクの日（8月19日）

総務庁交通対策本部が1989年に制定。「バ(8)イ(1)ク(9)」の語呂合せ。バイクの安全を考え、バイクによる交通事故の増加を防止するための日。

### ★即席ラーメン記念日（8月25日）

日清食品が制定。1958年のこの日、日清食品が世界初の即席ラーメン「チキンラーメン」を発売した。

### ★テレビCMの日（8月28日）

日本民間放送連盟が2005年に制定。1953年のこの日に開始された民放テレビで、初のテレビCMが放送された。初のCMは服部時計店の正午の時報だったが、フィルムを裏返しにかけてしまい、音も不明瞭だった。



## (株)高浄RDV事業部

シュレッターで紙を切ってるだけじゃない！環境破壊の連鎖を切る！

# リサイクル&リターン植樹プロジェクト 第3章



『気候変動に関する政府間パネル』(IPCC)の第4次評価報告書によって、人為的な温室効果ガスが地球温暖化の原因である確率は「90%を超える」ものであるということをお伝えしました。温室効果ガスといってもたくさんありますが、特に、環境中での寿命が長い二酸化炭素や、メタンなどの増加が温暖化に大きく影響していると考えられています。大気中の二酸化炭素の濃度は産業革命以前より遥かに高くなっていると、IPCC第4次報告書は指摘しています。1750年に産業革命が起こってから、大気中濃度として二酸化炭素は31%も増加しています。これは、氷床コア(氷河の深層部)から得られた信頼出来るデータで、過去65万年のどの時期よりも高い濃度なのです。これまでの「気軽に読めたタカジョウ通信」とは打って変わって難しい内容になってきましたね。。。難しく深刻な内容を池上彰氏のようにわかり易く解説出来る自信はありませんが、頑張ってみてください。私、浅村も頑張ってます。。。

さて上記のIPCC第4次報告書によると、二酸化炭素の増加は、主に人間による化石燃料、つまり石油・石炭の使用が原因と指摘しています。これに関しては想像に難くないですよ。例えば自動車。つい30年ほど前では、経済大国・日本でも、マイカーは一家に1台あるかな？程度でしたが、それが今や、トヨタもホンダも日産も世界中をマーケットに毎年数百万台ペースで新車を販売しています。毎年、夏休みや正月になれば、どこの高速道路も超大渋滞のニュースばかり。また郊外には大規模ショッピングモールが増え、週末の買い物客でどこのモールの駐車場も満車。こうした日常の風景からも如何に車が増えているかがわかります。ただこれでも日本国内では新車が思うようには売れておらず、政府が補助金出して必死に売ろうとしている訳ですが。。。

発展途上国においては電力の半分以上を火力発電で賄っている状況になります。現在の日本のほんの数機の原子炉発電機が稼働しているのみで、あとの大半は火力発電で電力を賄っています。(※原子炉を再稼働しろと言っているのではありません。)更にはゴミ焼却炉やたくさんの石油製品を製造する過程でも二酸化炭素は排出されます。意外なところでは、二酸化炭素の9%が畜産(酪農・養豚・養鶏など)から発生しており、交通から発生するより多いという事実。いずれにせよ、私たちの暮らしを安定的で豊かなものにしようと努力し、発展を続けてきた結果の温暖化と言えます。ですから、どれひとつ根本から否定することは出来ないように思います。今現在、どれだけ二酸化炭素を排出するモノであっても、我々人類にとってはどうしても必要なモノだったからこの世に登場して来たのです。環境問題を議論する上で、「あれが悪い・これが悪い」論が横行しがちですが、建設的かどうかは別として、あまり好きではありません。

とにもかくにも、化石燃料の燃焼、セメント製造時の石灰石焼成プロセス、土地利用の変化などによって、毎年約73億トン(炭素換算ベース)の二酸化炭素が人為的に地球の大気中に排出されています。なんとも驚くべき量ですよ。ただ地球全体の炭素循環を調べてみて、素人考えながらそれほど悲観的になる必要はないんじゃないかと考えるに至りました。地球の炭素循環を見ると、毎年約2,100億トンの二酸化炭素が自然界から排出され、約2,138億トンの二酸化炭素が自然界に吸収されていることがわかります。つまり、人類が毎年排出する二酸化炭素量の約半分も量を地球は吸収してくれているのです。勿論、35億トンは吸収されず大気中に残るわけですが、なんか凄く地球に、自然界に感謝したい気持ちになりませんか。自らが排出した以上に、人間が造った二酸化炭素を必死で吸収してくれている。地球は私たち人間をほったらかしにして回ってるわけではない。黙ってやってくれている。今よりもっとたくさんの二酸化炭素を吸収出来るよう、地球をバックアップし、メンテしてあげることが出来れば良くなるんじゃないかとタカジョウは考えたわけです。さて、何をどのようにするのか。。。